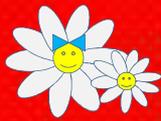


~News letter~



かもみーる通信



42号 2013年12月

トピックス

- * 岐阜大学フォーラム
- * MEDC「地域体験実習」
- * サイエンス夢追い人育成プロジェクト
- * 学内保育園たより



第39回 岐阜大学フォーラム開催のお知らせ

岐阜大学では、大学を活性化するために優れた学問を
発展させてきた一流の研究者による講演会を定期的
に開催しています。

今回の岐阜大学フォーラムは、第33回（2013年）
猿橋賞受賞者の肥山詠美子氏をお招きし、「男女共同参
画推進フォーラム」として開催いたします。
是非、ご聴講ください。



日時：平成26年1月16日（木） 16：30～17：45

場所：全学共通教育棟多目的ホール

テーマ：「ミクロ世界の3体問題—私はこうして研究者になった—」

講師紹介

肥山 詠美子 氏

独立行政法人理化学研究所
仁科加速器研究センター 准主任研究員

【略 歴】

- 1998年 九州大学大学院理学研究科博士課程修了（理学博士）
- 2000年 高エネルギー加速器研究機構 助手
- 2004年 奈良女子大学理学部 助教授（2007年 准教授）
- 2008年 理化学研究所 准主任研究員 現在に至る

【受賞歴】

- 2006年 第21回西宮湯川記念賞
- 2013年 第33回猿橋賞



専門は理論物理学、特に少数粒子系の厳密計算法を提唱・開発。従来困難であった数値計算を
実現することで、ハイパー核分野などにおける多大な貢献が高く評価されています。

ワーク・ライフ・バランス 研修を実施

平成25年12月13日（金）、人材開発部職員育成課は、40歳以上の職員を対象に「平成25年度岐阜大学事務系職員ワーク・ライフ・バランス研修」を実施し、29名が参加しました。

参加者は講義・グループワークを通して、様々な立場の人が働く職場でWLBを進めるためには、普段からのコミュニケーションなどが重要であることを再認識でき、有意義な研修となりました。

ワーク・ライフ・バランス講演会を開催

平成25年12月13日（金）、人材開発部職員育成課と男女共同参画推進室の共催で、21世紀職業財団客員講師土井文子氏による講演会「これからの介護時代に向けて・・・～介護と仕事の両立のために～」をおこない、56名の参加がありました。



▲土井文子氏

参加者の声

- ・事前の準備が大切であり、自分と要介護者間だけではなく、会社や地域との情報交換も重要となってくると感じました。
- ・介護制度等の内容や当事者になったらどうすべきかを考える良い機会となりました。
- ・働きながら介護するためにどのような支援を受けられるのか、よく分かりました。



「サイエンス夢追い人育成プロジェクト」実施報告

大垣市立星和中学校

平成25年11月15日（金）、大垣市立星和中学校の2年生168名を対象に、連合農学研究科1年の山本彩織さんと応用生物科学研究科2年の岩崎方子さんが出前講義を行いました。

山本さんは、「ニホンライチョウの保全に関する研究とこれまでの進路選択」について講義しました。受講した生徒たちは、岐阜県近隣に生息するニホンライチョウに絶滅のおそれがあることと、その保全活動に関する研究の話を聞き、大学での研究活動の一端を知ることができたようです。

岩崎さんは、「アミメキリンの子育て事情に関する研究とこれまでの進路選択」について講義し、受講した生徒たちは、動物園でしか目にしないキリンの子育てについての研究を興味深く聞いていました。また、高校から大学院までの進路選択についての話は、これから高校受験を迎える生徒たちに大きな刺激を与えたようです。

中学生に研究内容を伝えることは難しいことですが、中学生にもわかるように図を用いるなど工夫がなされ、研究者を目指す若者の育成に繋がる機会となりました。



▲山本彩織さん



▲岩崎方子さん

岐阜市立鶉小学校

平成25年11月20日（水）、岐阜市立鶉小学校の6年生113名を対象に、連合農学研究科1年の山本彩織さん、応用生物科学研究科1年の小池田真知さん、医学系研究科学術研究補佐員の鈴木紀子さんの3名が出前講義を行いました。

山本さんは「動物を研究する」、小池田さんは「身近な科学のお話」、鈴木さんは「新しいがんの治療法を探す！」というテーマで、それぞれが現在行っている研究内容について講義しました。

小学生相手に研究内容をわかりやすく紹介するのはとても大変なことです。講師を務めた3名は、適時クイズを取り入れ、実際の研究の様子を写真で紹介するなど工夫しながら話をしました。長時間の講義にもかかわらず、多くの小学生が最後まで真剣な眼差しで講義に聞き入っており、大学での研究を知る一端となったようです。



▲山本彩織さん



▲鈴木紀子さん



▲小池田真知さん



地域体験実習について（後編）

10月3日～11月28日の毎週木曜日（全8回）、医学教育開発研究センター（センター長：鈴木康之教授）が主催している「地域体験実習」が行われました。前号に引き続き、今号では、学内保育園「すこやか」での実習の様子と「まとめと発表」をお知らせいたします。

保育園実習6日目の様子



▲おやつをあげている様子

学内保育園「すこやか」では、6名の女子学生が実習を行いました。「すこやか」は0歳児を預かっているため、「ほほえみ」での実習とは違った苦労が多かったようです。学生たちは保育士さんからアドバイスを受れたり、保育士さんを参考に、園児とのコミュニケーションを図りました。「赤ちゃんは本当に可愛かった。将来、自分も子どもが欲しい」という感想があがりました。

「ほほえみ」と「すこやか」で6週間の実習を終えた学生に、それぞれ担当した園児からメッセージと写真のプレゼントがあり、学生からは園児とその保護者に向けてのメッセージカードが送られ、学生園児ともによい思い出となりました。

「まとめと発表」



▲発表の様子

実習の最終日（11月28日）は、保育園実習、妊婦実習、高齢者実習を行ったすべての学生が集まり、「まとめと発表」を行いました。初めに、実習施設グループ毎に発表が行われ、その後、混合グループを作り、「コミュニケーション」「ライフサイクル」「自分の将来」について意見交換を行い、最後に代表者が発表しました。男子学生から男子発表者へ「育休を取る気はありますか？」との質問があがり、発表者は、「1歳児がめちゃくちゃ可愛かったので取りたいです。」と答え、会場を沸かせました。

藤崎 和彦教授から「普段は生物としての人間を勉強しているが、この実習では社会的な人間を学んでもらいたい。」と、この実習の意義について

お話がありました。医学部の学生たちにとっては人の命に関わる仕事ゆえ、家庭より仕事を優先する場面が多くなるのが考えられますが、コミュニケーション力を高めるとともに、自身のワーク・ライフ・バランス（WLB）を考えるととても良い機会となりました。

また、学生から教員へ「どうやって配偶者を見つければいいのか？」という質問があり、教員は、「人との関わりを多くすること。相手を素敵と思うだけではだめで、自分も素敵と思われなくてはいけない。自分磨きも忘れないで。」とアドバイス。身近な人がロールモデルとなっているようです。

妊婦実習にあたっては、決められた期間の毎週木曜日にご協力いただく妊婦さんを探すのが大変難しいとのことですが、この地域体験実習は、今後とも是非続けていただきたいカリキュラムです。

発表内容

高齢者実習

- ・自分が経験したことのない話題についていくのが難しい。
- ・幸せそうな高齢者を見て、自分も家族が欲しくなった。
- ・理想的なパートナーを見つけることが大切。

妊婦実習

- ・女性にとって妊娠期間は変化が大きな時期。人間関係も仕事も家族構成も変化してしまうことがわかった。
- ・男性にとっては、経験ができないことなので、話にあいづちを打ちにくい。
- ・育休を取るか退職するか、すごく悩んでいた。

保育園実習

- ・子どもの成長が早いことが分かった。仕事をしていると、それを全て見るのができないのが残念。
- ・保育園で保育士さんの頼もしい様子を見て、自分も将来、保育園を利用したいと思った。
- ・子どもは欲しいが仕事もある。WLBについて考えたい。社会も考えて欲しい。

「実習を終えて」

医学教育開発研究センター
川上 ちひろ助教

医師という職業は、スタッフや患者とのよりよいコミュニケーションや人間関係の構築が必須ですし、またそのことが期待されます。この地域体験実習で“他人との関係を築く”体験をすることは、今の自分の他人への関わり方をふりかえり、よい関係をつくるにはどうすればいいか考える機会になっていると思います。

教員の皆様へ

アンケート協力をお願い

研究補助員（研究支援者）配置制度に関する需要調査

岐阜大学男女共同参画推進室では、平成22年度から、育児や介護等と研究との両立を支援する「研究補助員配置制度」を運用してきましたが、次年度以降の制度の再検討を進めています。つきましては、教員の皆様に対して研究補助員配置制度に関する需要調査を行い、検討の際の資料にしますので、ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い致します。

提出期限：平成26年1月6日（月）まで延長

提出先：各部局の人事担当係または学内便で人材開発部職員育成課男女共同参画係へ

学内保育園たより

秋の遠足

11月5日（火）、秋晴れの下、「ほほえみ」の園児は学内遠足を楽しみました。岐阜フィールド科学教育研究センターでは芋掘り体験もあり、園児たちにとって楽しい思い出となりました。

おもい、たくさん掘ったよ♡

かめ池に行ったよ☆

猫バスがあったよ～*

お外で食べるお弁当、美味しいね♪



勤労感謝の日

11月22日（金）、「ほほえみ」はくちょう組の園児が人材開発部を訪れました。代表して殿崎人材開発部長に日頃のお礼を述べ、手作りのペン立てをプレゼントしました。

どういたしまして♪

いつもお仕事ありがとうございます！



焼き芋大試食会

12月5日（木）、「ほほえみ」の園児は、秋の遠足で自分たちが収穫したさつま芋を焼き芋にして味わいました。保育園スタッフが校内の落ち葉を使いじっくり焼きあげたお芋はほくほくで、園児の顔もほころんでいました☆

焼きあがったお芋は、店員に扮したはくちょう組の園児が「焼き芋券」と引き換えに、他の園児に渡しました。

はい、どうぞ。

焼き芋、ください。

おいしい♪



岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。

